

平成24年度 熊本市食の安全安心・食育推進会議委員および策定部会名簿

	氏名	策定部会 (食の安全安心)	策定部会 (食育)	所属	区分
1	○秋吉 澄子	○	○	尚絅大学短期大学部	学識経験者 (食育関係)
2	石井 孝文		○	(社)熊本県栄養士会	専門職・職能団体代表
3	伊藤 大介		○	熊本市私立幼稚園協会	教育関係団体代表
4	江頭 隆一		○	熊本市PTA協議会 (長嶺小学校PTA会長)	保護者会関係団体代表
5	江藤 晶	○		熊本保健科学大学 衛生管理学科	学識経験者 (食品衛生関係)
6	川瀬 修一		○	健康保険組合連合会熊本連合会	成人保健分野代表
7	北川 和喜	○		熊本市食品衛生協会	食品事業者代表 (食品衛生協会)
8	木村 彰宏	○	○	熊本日日新聞社	報道機関代表
9	清川 光乃		○	熊本市食生活改善推進員協議会	地域ボランティア代表
10	清田 賢治	○	○	熊本市農業協同組合	農・畜産業者代表
11	上妻 美由紀		○	熊本市保育園連盟 (寺原保育園)	教育関係団体代表
12	◎小山 和作	○	○	日本赤十字社 熊本健康管理センター (名誉所長)	学識経験者
13	谷口 憲治	○		(株)熊本地方卸売市場	食品事業者代表 (流通関係)
14	中川 朗子		○	市民公募	市民代表
15	永吉 景子	○		市民公募	市民代表
16	林田 祐典	○		熊本市観光旅館ホテル協同組合	観光関係事業者
17	古庄 眞喜	○		熊本市食品安全情報ネットワーク (株)鶴屋百貨店	食品事業者代表
18	松高 博	○		熊本県漁業協同組合連合会	水産業者代表
19	森田 啓二		○	熊本市小学校長会 (吉松小学校)	教育関係団体代表
20	山中 康博	○		熊本市食品安全情報ネットワーク (株)鮮ど市場	食品事業者代表

◎会長 ○副会長

(五十音順)

3 用語の解説（あいうえお順）



●アレルギー物質を含む加工食品の表示

近年、乳幼児から成人に至るまで、特定の食物が原因でじんま疹などのアレルギー症状を起こす人が増えてきました。

現在、「卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かに」の7品目については、必ず表示しなければなりません。また、あわび、いか、いくら、オレンジ、キウイフルーツなどの18品目については、表示の推奨品目となっています。

●5つの地帯

- 北西部中山間地帯 金峰山山麓の都市化の影響が少ない中山間地帯
- 南・西部水田地帯 有明海に隣接する白川と緑川にはさまれた平坦な地帯
- 南・東部水田地帯 水が豊富な水田地帯
- 東部畑作地帯 阿蘇山の火山灰などによってできた丘陵地帯
- 北部水田・畑作地帯 3つの台地からなる穏やかな起伏に富んだ畑、水田、開田地帯。

●遺伝子組換え食品

遺伝子組換え技術（別の生物から有用な性質をもつ遺伝子を取り出し、植物等に組み込むこと）を応用し、除草剤や害虫に強いなどの性質を持った農作物などが開発・生産されています。

平成25年3月現在、食品衛生法やJAS法（農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律）では、農作物として大豆（枝豆・大豆もやし含む）、とうもろこし、ばれいしょ、菜種及び綿実などの8作物、添加物7種類、加工食品として33種類が認められています。

●運動習慣がある者

1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者のことをいいます。

●栄養ケア・ステーション

（社）日本栄養士会が生活習慣病対策として全国的に展開している事業。本市では（社）熊本県栄養士会が開設。栄養ケア・ステーション登録会員は資質向上を図るとともに、専門的な個別栄養相談や医療機関・行政への栄養食事指導・相談者派遣、健康教室の講師派遣、電話での相談、食事メニュー・食材の栄養価計算等を実施しています。

●栄養成分表示（栄養表示）

加工食品や外食、給食に対して、その食品または献立が含んでいる栄養成分を表示することです。加工食品に対して表示する場合は、健康増進法第31条に規定されている「栄養表示基準」に従わなければなりません。